

# 報 雜

## ◎人 事

陸軍軍醫大尉從六位勳四等 山 本 靖 造  
任陸軍軍醫少佐

陸軍軍醫中尉從七位 伊 庭 喬 樹

陸軍軍醫中尉從七位 矢 部 忠 孝

陸軍軍醫中尉從七位 鈴 木 純 一 郎

任陸軍軍醫大尉 (八月一日)

陸軍衛生軍曹 横 山 光 男

陸軍衛生軍曹 近 光 正

陸軍衛生軍曹 兒 玉 孜

陸軍衛生軍曹 中 田 三 郎

陸軍衛生軍曹 松 岡 健 雄

陸軍衛生軍曹 兒 子 廉 夫

陸軍衛生軍曹 藤 原 高 司

陸軍衛生軍曹 間 野 忠 術

任陸軍軍醫少佐 (八月三日)

岡山醫科大學教授 生 沼 曹 六

岡山醫科大學教授 八 木 日 出 雄

滿洲國及中華民國へ出張ヲ命ス (八月七日)

岡山醫科大學長 田 村 於 兎

滿洲國及中華民國へ出張ヲ命ス (八月九日)

正五位勳三等 高 城 喬

敘勳二等授瑞寶章 (八月十一日)

衛生技師 武 波 晋 一

七級俸下賜 (七月三十一日)

○生沼、八木兩教授 別項の如く今般滿洲國及び  
中華民國へ出張を命ぜられたる岡山醫科大學生沼  
教授は本月 15 日、八木教授は本月 20 日當地を出  
發せられたり

○田村學長 別項の如く今般滿洲國及び中華民國  
へ出張を命ぜられたる田村岡山醫科大學長は本月  
23 日當地を出發せられたり

○桂田富士郎君 文部省より本年度自然科學研究  
獎勵金を交附せられたる同君の主題は次の如し

動物性寄生物 = 由來スル熱帶乃至亞熱帶病  
ノ研究

○穗積孝悌君 豫て拓務省より派遣せられ南米  
Paraguay に於て醫業を營み居られし同君 (陸軍  
軍醫中尉) は今般從軍志願の爲め歸朝せられたり

○山口龍契君 先年岡山鐵道診療所を辭し岡山  
市上石井に於て開業中の君は今般樺太廳眞岡簡易  
保險健康相談所に勤務せられたり

○篠原一幸君 豫て徳山市上本町に於て開業し  
居られし同君は今般新設病院落成まで滿洲國錦州  
市赤十字社錦州病院に勤務せらる

○吉田三郎君 豫て函館市役所に勤務し居られ  
し同君は先般北支石家莊大同街同仁會診療防疫班  
に轉勤せられたり

## ◎學位授與

杉山五郎、野間安則、益澤博、關寅太郎、木村敏三、  
青木操、吉野啓三、西川規夫の 8 君は豫て論文を  
岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしが次  
記の如く孰れも醫學博士の學位を授與せられたり

氏 名	通過年月日	授與年月日
杉 山 五 郎	昭和14年6月19日	昭和14年7月27日
野 間 安 則	"	"
益 澤 博	"	"
關 寅 太 郎	"	"
木 村 敏 三	" 7月3日	" 8月12日
青 木 操	"	"
吉 野 啓 三	"	"
西 川 規 夫	"	"

上記の主論文及び參考論文は次の如し

杉山五郎君

主論文

「ニオキシアロヒヨラン酸」ノ合成ト其生理作用

1. 豚胆汁ノ「3オキシ6ケトヒヨラン酸」α36「ニオキシアロヒヨラン酸」ノ合成ニ就テ（外字生化学雑誌第25巻第1號ニ發表セリ）
2. 「ヒヨラン酸」ト「アロヒヨラン酸」ノ血糖降下作用（外字生化学雑誌第29巻第1號ニ發表セリ）

参考論文

1. 胆汁酸ノ肝糖原生成促進作用ト「ソレアチン」作用トノ關係（外字生化学雑誌第29巻第1號ニ發表セリ）
2. 「アラニン」ノ「アミノ」基脱ニ及ボス人及ビ豚扁桃腺越幾斯及ビ胆汁酸ノ影響（外字生化学雑誌第29巻第1號ニ發表セリ）
3. 豚胆汁酸「ヒオデオキシヒヨール酸」ヨリ「性ホルモン」誘導體ノ製出ニ就テ（外字生化学雑誌第29巻第7號ニ發表セリ）
4. 鯉魚ノ胆汁酸ニ就テ（岡山醫科大學歐文業府第6巻第2號ニ發表セリ）
5. 各種六炭糖誘導體ノ肝糖原質生成ニ及ボス胆汁酸ノ影響（木村敏三、宮地重樹、新宅哲夫、石原徳春共著）（岡山醫科大學歐文業府第5巻第4號ニ發表セリ）

野間安則君

主論文

術後急性肺虚脱ノ成生機轉ニ關スル臨牀的竝ニ實驗的研究

1. 迷走神經緊張時ニ於ケル肺胞ニ對スル創傷ノ影響ニ就テ（追テ日本外科學會雜誌ニ發表ノ豫定）
2. 腹部急性疾患殊ニ急性汎發性腹膜炎竝ニ腸閉塞症ト術後急性肺虚脱トノ因果關係ニ就テ（追テ日本外科學會雜誌ニ發表ノ豫

定）

3. 各種末梢神經障碼ノ肺虚脱ニ對スル原因的關係ニ就テ（追テ日本外科學會雜誌ニ發表ノ豫定）
4. 麻醉ノ術後急性肺虚脱ニ對スル原因的關係ニ就テ（追テ日本外科學會雜誌ニ發表ノ豫定）
5. 諸種操作特ニ體位壓迫飢餓竝ニ失血ノ急性肺虚脱ニ對スル原因的關係（追テ日本外科學會雜誌ニ發表ノ豫定）

参考論文

1. 術後急性肺虚脱ノ成生機轉ニ關スル臨牀的竝ニ實驗的研究補遺  
特ニジエルバル ビーネ兩氏ノ「ポリペプチード」說批判（追テ日本外科學會雜誌ニ發表ノ豫定）
2. 犬ニ於ケル主氣管枝肋膜外結紮ト氣管枝内異物閉塞例トノ肺病變ノ比較研究（追テ日本外科學會雜誌ニ發表ノ豫定）
3. 脊髓空洞症ノ外科的治驗例（日本外科學會雜誌第38回第1號ニ發表セリ）
4. 頸椎骨ニ單發セル興味アル外傷性軟骨腫ノ1例ニ就テ（日本整形外科學會雜誌第11巻第7號ニ發表セリ）
5. 大網膜ニ原發セル「ケリテリオーマ マリグナム」ニ就テ（東京醫事新誌第2951號ニ發表セリ）
6. 肺「ヂストマ」蟲卵ニ因リ發生セル個立性頸部皮下腫瘍ノ1例ニ就テ（東京醫事新誌第2949號ニ發表セリ）
7. 國産品「スギロン」ニ依ル腎臟尿管造影術ニ就テ（實地醫料ト臨牀第11巻第10號ニ發表セリ）

益澤博君

主論文

1. 腸管運動ニ就テノ實驗的研究

第1報 腸管運動 = 及ボス温度ノ影響竝 = 家兎ノ腹壁上 = 作用セシメタル寒熱ノ腹腔内温度 = 及ボス影響 (追テ本誌 = 發表ノ豫定)

2. 腸管運動 = 就テノ實驗的研究

第2報 摘出腸筋 = 對スル温度ノ影響 = 就テ (追テ本誌 = 發表ノ豫定)

參考論文

1. Thermonodel = ヨル家兎ノ各組織及ピ器官 = 於ケル温度測定ノ實驗的研究 (追テ本誌 = 發表ノ豫定)
2. 白鼠ノ皮質下障得ノ明暗鑑別ノ習慣 = 及ボス影響 = 就テ (追テ本誌 = 發表ノ豫定)
3. ビタミンC 缺乏ノ皮内試験知見補遺 (追テ本誌 = 發表ノ豫定)
4. 各種植物及ピ2,3藥物ノ利尿作用 = 就テ  
第1報 陸「エキス」ノ利尿作用 = 就テ (追テ本誌 = 發表ノ豫定)
5. 各種植物及ピ2,3藥物ノ利尿作用 = 就テ  
第2報 其他各種植物竝 = 2,3藥物ノ利尿作用 = 就テ (追テ本誌 = 發表ノ豫定)
6. 深呼吸時 = 於ケル肺部空氣ノ組成 = 就テ (追テ本誌 = 發表ノ豫定)

關 寅太郎君

主論文

急性肺虚脱ノ肺臟毒竝 = 血清毒 = 關スル研究

1. 急性肺虚脱時 = 於ケル肺臟毒素ノ消長竝 = 其本態 = 關スル實驗的研究 (追テ日本外科學會雜誌 = 發表ノ豫定)
2. 急性肺虚脱時 = 於ケル血清毒力ノ消長竝 = 血清毒ノ本態 = 關スル研究 (臨牀的竝 = 實驗的研究) (追テ日本外科學會雜誌 = 發表ノ豫定)
3. 實驗的急性肺虚脱時血清毒ノ心臟 = 及ボス影響  
附. フレンケル氏肺炎菌竝 = 「インフルエ

ンザ」菌混合感染 = ヨル實驗的肺炎時血清毒トノ比較研究 (追テ日本外科學會雜誌 = 發表ノ豫定)

4. 實驗的急性肺虚脱時血清毒ヨリ觀察シタル恢復過程 = 就テ

附. 恢復期血清毒力竝 = 消退過程 = 就テ (追テ日本外科學會雜誌 = 發表ノ豫定)

5. 實驗的急性肺虚脱 = 於ケル輸血竝 = 瀉血處置ノ得失 = 就テ

附. 全編ノ總括 (追テ日本外科學會雜誌 = 發表ノ豫定)

參考論文

1. 穿孔後30時間ヲ經過セル胃潰瘍切除治験例及ピ2,3統計的觀察 (日本外科學會雜誌第37回第5號 = 發表セリ)
2. リツトル氏病ヲ思ハセタル脊髄「グリオマトーゼ」ノ1例 = 就テ (日本外科學會雜誌第38回第6號 = 發表セリ)
3. 右脛骨 = 發生セル中心性巨大細胞肉腫症例ト其ノ治療法 = 就テ (大阪醫事新誌第8卷第6 = 發表セリ)

木村敏三君

主論文

豚膽汁「Bヒオデゾオキシヒヨール酸」ト其生理作用

1. 豚膽汁ヨリ「Bヒオデゾオキシヒヨール酸」ノ分離ト其ノ化學的構造 = 就テ (獨逸生化學雜誌第248卷 = 發表セリ)
2. 及「Bヒオデゾオキシヒヨール酸」ノ脾臟「リパーゼ」及ピ赤血球 = 及ボス影響 (外字生化學雜誌第27卷第2號 = 發表セリ)

參考論文

1. 「ステリン」添加血液ヲ以テ環流後排出スル肝臟膽汁 = 就テ (獨逸生化學雜誌第253卷 = 發表セリ)
2. 豚膽汁酸「Bヒオデゾオキシヒヨール酸」ヨリ

「性ホルモン」誘導體ノ製出=就テ (杉山五郎共著) (外字生化学雑誌第29卷=發表セリ)

3. 「カンガール」及ビ狗ノ膽汁酸=就テ (外字生化学雑誌第26卷=發表セリ)
4. 猿ノ膽汁酸=就テ (森胤直共著) (外字生化学雑誌第27卷=發表セリ)
5. 「ボラ」魚ノ膽汁酸=就テ (宮地重樹共著) (外字生化学雑誌第26卷=發表セリ)
6. 各種六炭糖誘導體ノ肝糖原質生成=及ボス膽汁酸ノ影響 (石原徳春, 宮地重樹, 新宅哲夫, 杉山五郎共著) (岡山醫科大學歐文業府第5卷第4號=發表セリ)

青木 操 君

主論文

Cholesterin 及ビ Lecithin ノ血清學的研究

- 第1報 Cholesterin 及ビ Lecithin =ヨル抗體產生=就テ (本誌第50年第10號=發表セリ)
- 第2報 Cholesterin 及ビ Lecithin 感作=ヨル過敏症實驗 (本誌第50年第10號=發表セリ)
- 第3報 過敏症反應ト血清 Cholesterin 量=就テ (本誌第50年第11號=發表セリ)
- 第4報 Cholesterin ノ過敏症豫防=就テ (本誌第50年第11號=發表セリ)
- 第5報 Lecithin ノ過敏症豫防=就テ (本誌第50年第11號=發表セリ)
- 第6報 Cholesterin ト Lecithin トノ拮抗作用=就テ (本誌第51年第2號=發表セリ)
- 第7報 Cholesterin 及ビ Lecithin ノ過敏症血液凝固時間=及ボス影響=就テ (本誌第51年第2號=發表セリ)

吉野 啓三 君

主論文

Carassius auratus (Limnaeus) ノ中間宿主トスル吸蟲類被囊幼蟲並=其ノ寄生率ノ季節的消長=就テ (追テ本誌=發表ノ豫定)

西川 規夫 君

主論文

皮膚電解質ト皮膚感受性トノ關係=就テ

1. 利尿劑及ビ發熱劑ノ皮膚電解質並=皮膚感受性=及ボス影響 (追テ本誌=發表ノ豫定)
2. 脾臟甲狀腺剔除ガ皮膚血液電解質並=皮膚感受性=及ボス影響 (追テ本誌=發表ノ豫定)
3. 舉丸, 卵巣剔除ガ皮膚, 血液電解質並=皮膚感受性=及ボス影響 (追テ本誌=發表ノ豫定)

參考論文

1. ヘブラ氏紅色批糠疹知見補遺 (本誌第51年第3號=發表セリ)
2. 「ネオトロピン」内服=因ル副作用特=其ノ皮膚黄染現象=就テ (本誌第48年第5號=發表セリ)
3. 尋常性白斑ノ一新療法=就テ (本誌第48年第9號=發表セリ)
4. 興味アル外傷性舉丸瘻疽ノ1例 (追テ本誌=發表ノ豫定)

◎岡山醫科大學三朝温泉療養所

岡山醫科大學にては昭和7年頃より鳥取縣東伯郡三朝村に温泉療養所を設置するの計劃を爲し敷地は地元より寄附の申出ありしを以て政府に對して豫算の要求中なりしが昭和12年に至り其の一部豫算の計上を實現し13, 14の兩年度に62,000圓を投じて建設に着手し此程完成せるを以て本年7

月 28 日午前 9 時より新療養所に於て開所式を舉行したり來賓は金子第六高等學校長、鳥取縣知事代理井上屬、同縣選出豊田收代議士を初め 150 餘名參列の下に先づ三朝神社々司の修祓により式を開始し田村學長の式辭、須川事務官の建設經過報告あり續て鳥取縣知事、三朝村長、倉吉厚生病院長野坂博士の祝辭あり次で淺越所長の挨拶にて式を閉ぢ披露宴に移り席上豊田代議士の建設の経緯に就て「テーブルスピーチ」あり一同療養所の萬歳を祝して午前 11 時 30 分盛會裡に散會したり

◎天津便り

既記の如く岡山醫科大學細菌學教室に於て天津に於ける財團法人同仁會の防疫處を擔任せる諸君より次の通信ありたり

(前略) 私共一同は今事變に於ける第一線に活躍さるる將兵諸士と略ぼ同一の任務に従事し大陸の酷暑と風習に慣れざる異郷に在りて一意専心邦家の爲め私共本來の使命に向ひ奮勵致居候幸にして擔任以來各員些の故障も無く一致團結

大和民族の意氣を發揚致すべく努力致し居候間乍他事御放念下され度候扱て當地に參りてより本防疫處の作業室研究室等開處準備に毎日總動員の勤勞により他大學の防疫班より逸早く整備し世界戦史上記念すべき 7 月 7 日に目出度開處式を舉行致し式後直に實務に就き得たる状況に御座候即ち當日午後より防疫班 3 班を組織し市内樞要箇所 3 箇所に出張炎天下に於てコレラ豫防接種を行ひ一方市内に於て臨時發生する特種傳染病様患者の檢疫に晝夜の別なく引續き出動し又處内に於ては關係各方面と應接交渉及び處内の整備等あらゆる點に忙殺されたるも着々基礎を固め歩一步新東亞建設の大事業に邁進致居る次第に御座候次に私等の眼界に入るものは人口 150 萬人を有する當地の中華人の生活狀態の簡易さとチョツピー(人力車)の多數と皇軍の東洋平和永遠の維持に力強き威力ある皇恩の有難さに感謝なくては一刻も過ごされざるものあるを覺え申候今後愈々統後の皆々様の多大なる御援助と御鞭撻の下に精勵これ努むべき覺悟を致居候 (後略)

◎岡山醫學會第 352 回通常會

同會は本年 9 月 28 日午後 4 時より岡山醫科大學に於て開會す